

赤木格堂 あかき かくたう 俳人、歌人、評論家。明治十二年七月、二十七自岡山縣生れ、昭和二十二年十一月一日歿（一九九一—一九四八）。本名龜一。明治二十五年東京專門學校卒。在學中止岡子規の師事。『九州日報』、『山陽新報』等主筆、衆議院議員など。

著書『止岡子規研究』（合著・渡邊順三、藤田太郎、神畑 眞）昭和八年十一月十五日樂

浪書院）、『平壤遷都論』（小西比古編、昭和十六年五月二十日、

再刊、十一月五日東半球協會「東半球資料」）、『伯林大學論』（同

昭和十六年六月、二十五日東半球協會「東半球資料」）、『太平洋諸

島爲め、の廣さ』（雜質博愛編、昭和十六年八月一日東半球協會「東半

球資料」）、『先づ遷都』（小西比古編、昭和十六年八月十五日東

半球協會「東半球」）、『時勢瞥見—今日は清塵より—』と山田長政と（要

す）（同、昭和十六年十一月、二十五日東半球協會「東半球」）、『植

民政策論・第一輯』（雜質博愛編、昭和十七年十一月、二十五日東半球

協會「東半球資料」）、『赤木格堂先生南方經濟論覽帳・第一冊』（小

西比古編、昭和十八年一月十五日南洋經濟研究所出版部「南洋資

料」）等。